

2. 市街化区域の変遷と市街地形成過程

昭和43年に改定された都市計画法の大きな特徴の1つとして区域区分の制度がある。この区域区分は都市における土地の合理的な利用を図るため、市街化区域と市街化調整区域に区分し市街化を図るまたは促進する区域と抑制する区域を区分する制度となっている。

市街化区域がどのように変化してきたのか、その変遷を把握することにより、現在の市街化区域の課題を抽出する。

変遷

- ◆ 市街化区域の変遷は当初線引き(昭和46年)以降、市街化区域縁辺部における拡大により東西方向に連坦するとともに、団地開発による飛び市街化区域が設定された。
- ◆ 市街化区域の変遷とDIDの関係をみると、航空自衛隊岐阜基地を除き概ね市街化区域内でDIDが拡大していることから、計画的な土地利用の誘導が図られたといえる。
- ◆ 昭和53年には鵜沼地区で緑地保全のため逆線引きが行われていることから、都市的土地利用から自然保全への土地利用転換も行われたといえる。
- ◆ 平成9年に市街化区域に編入した地区は、開発想定区域や集落連坦地域であった地区が多く、地区計画の適用を条件として市街化区域に編入した。

<当初線引き時点(昭和46年)>

- ・当初線引きは、鉄道及び国道21号に沿って東西方向に長く形成されていた昭和45年のDIDを核として、既に市街地形成が始まっていた蘇原地区南部、鵜沼地区南西部及び大規模住宅地開発が予定されていた鵜沼地区東部において市街化区域が設定された。
- ・DIDの過半は各務原飛行場等を除くと、戦前に施行された区画整理地区が主体である。
- ・川島地区(旧川島町)においては、木曽川と南派川に挟まれた中州部分及び笠田町の一部で市街化区域が設定された。

<第1回線引き見直し(昭和47年)>

- ・昭和47年、那加地区北部の尾崎団地において新たに飛び市街化区域が設定された。
- ・昭和45年から50年にかけて、DIDが滲み出的に拡大している。
- ・鵜沼地区東部では大規模住宅地開発が進行し、鵜沼地区南西部では一部開発行為が見られる。
- ・市街化調整区域において開発行為が散在的に行われた。

<第2回線引き見直し(昭和53年)>

- ・昭和53年、蘇原地区の蘇原中央町付近で市街化区域が拡大された。また、鵜沼地区東部では緑地保全のため逆線引きが行われた。
- ・昭和50年から55年にかけて、那加、蘇原地区のDIDが拡大を続け、鵜沼地区東部の住宅団地及び那加地区北部の尾崎団地で新たにDIDが形成された。
- ・那加、蘇原及び鵜沼地区において、市街化区域を越えてDIDを形成した地区がある。
- ・昭和45年のDIDであった市役所周辺の既成市街地で区画整理が施行され、蘇原地区、鵜沼地区南西部で比較的大きな開発行為が行われた。

<第3回線引き見直し(昭和62年)>

- ・昭和62年、那加前洞町周辺、鵜沼各務原町周辺等で市街化区域が拡大され、鉄道及び国道21号沿いの市街化区域はすべて連坦することとなった。
- ・那加、蘇原地区のDIDが再度拡大し、また、鵜沼地区南西部がほぼ全域にわたってDIDとなった。鵜沼地区東部もほぼ全域がDIDを形成するに至った。

●DID(Densely Inhabited District)

国勢調査で設定された区域で、人口密度が1ha当たり40人以上であり、当該区域内の人口が5,000人以上である区域

<第4回線引き見直し(平成9年)>

- ・平成9年、那加前野町、蘇原東島町、鵜沼古市場町等の周辺で市街化区域が拡大されたが、当該地区の大半は開発想定区域、集落連坦地域の区域であった。これらの地域は土地改良事業が施行済みであり、地区計画の適用を条件として編入されている。しかし、今日においてもDID形成には至っていない。

<第5回線引き見直し(平成21年)>

- ・平成16年に合併した川島地区を岐阜都市計画区域から除外し、同時に各務原都市計画区域を川島地区を含む市全域に拡大した。川島地区の市街化区域は、その全てを各務原都市計画区域の市街化区域として計画決定した。
- ・なお、旧岐阜都市計画区域川島地区においては、昭和46年の当初線引きから線引き見直しは行われていない。また、現在も市街化区域全域でDIDを形成するに至っていない。

市街化区域及び市街化調整区域

計画決定告示年月日	都市計画区域 面積 (ha)	市街化区域 面積 (ha)	市街化調整区域 面積 (ha)
昭和46年 3月31日	7,952	1,504	6,448
昭和47年 2月18日	7,952	1,579	6,373
昭和53年 2月1日	7,952	1,520.8	6,431.2
昭和55年 4月1日	7,952	1,520.8	6,431.2
昭和62年 4月1日	7,952	1,989.2	5,962.8
平成5年 4月1日	7,975	1,989.2	5,985.8
平成9年 9月16日	7,975	2,348.3	5,626.7

市街化区域及び市街化調整区域(川島地区)

昭和46年 3月31日	800	419	381
平成4年 4月1日	821	419	402
平成5年 4月1日	802	419	383

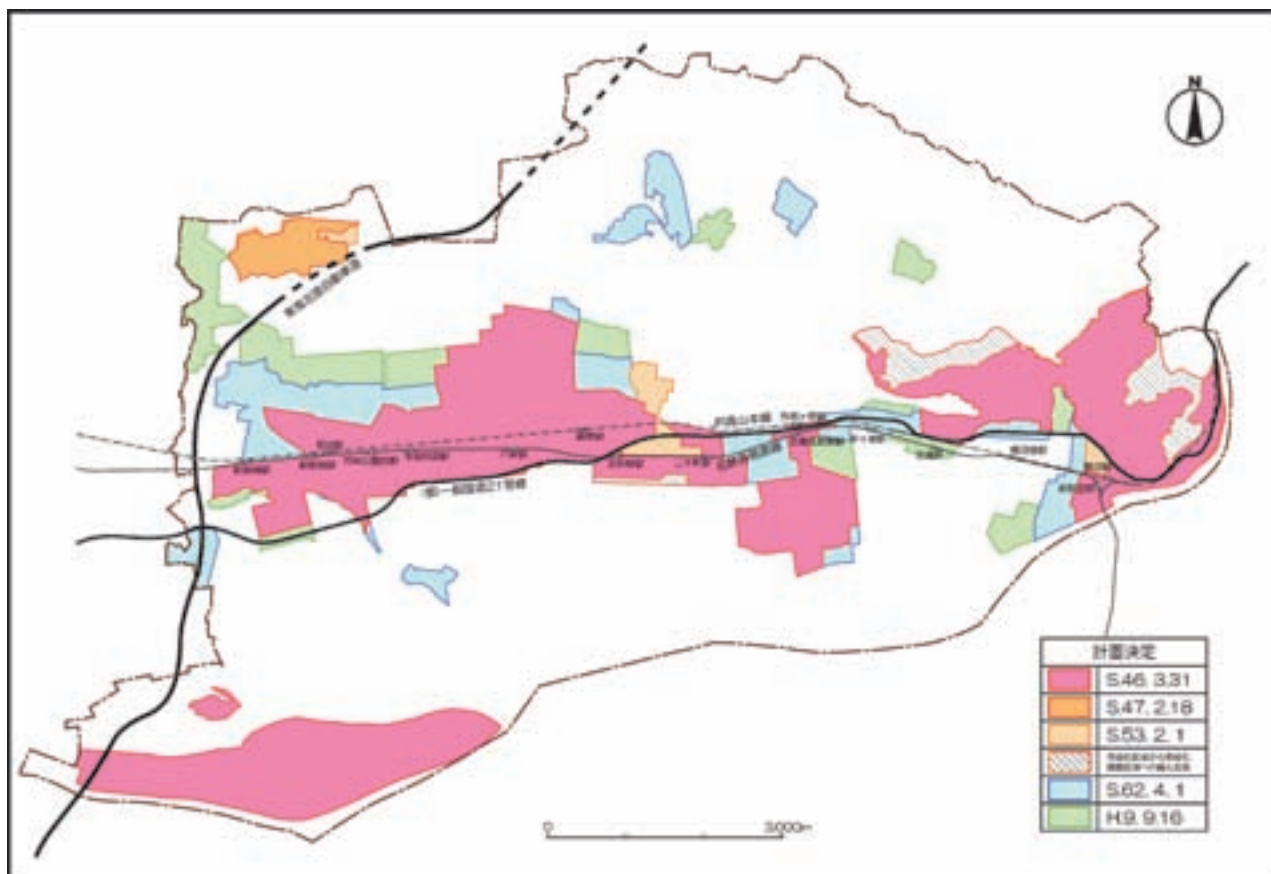
市街化区域及び市街化調整区域(都市計画区域の変更)

平成21年 1月30日	8,777	2,767.3	6,009.7
-------------	-------	---------	---------

第1回線引き見直し(昭和47年)



市街化区域の拡大経緯



DID(人口集中地区)の変遷

